

わが市わが町 三浦市



三浦市の総面積は3,205haで、神奈川県南東部に位置し、三方を海に囲まれ、西岸は相模湾、東岸は東京湾（浦賀水道）、南岸は太平洋に面し、南端部に城ヶ島を位置し、自然豊かな地域となっており、一年を通して観光客が訪れます。特に三崎港近辺のマグロ料理店はメディアでも多く取り上げられ、とても活気があります。

農業も盛んで、大根、キャベツ、スイカ等が主になりますが、大根において出荷量は日本一を誇っています。

本市は過去に林業を行っていたようですが、森林経営体は存在せず、資料の記載もありません。

本市森林計画は「人・まち・自然」の三大資源が持つ価値を活かし、住

み心地のよい、潤いと安らぎを感じるまちづくりの重要な構成要素となるよう、森林整備計画に努めています。

現況森林面積は588haで、森林整備計画対象民有林は503haで、そのうちマツを主体とした人工林面積は9haであり、各地に分散しています。人工林率は2%で県平均よりかなり低い値です。

しかし、森林の持つ水源かん養、土砂の流出・崩落防止及び生活環境の保全等の公益機能の重要性が高まってきていることから、本市においても人工林の間伐の推進及び住宅地周辺森林の整備を積極的に実施すると考えます。

本市の代表的な森林である「小網代の森」は面積約70haで市内最大

の斜面林です。平成17年には近郊緑地保全区指定され、観光・学習の場として活用されています。この森は関東、東海地方で唯一、集水城の森林、河川、干潟が開発されずに連続して残されている自然環境といわれています。

街路樹においては「河津桜」が2月には満開になり、直近を通過する鉄道と相まって、多くの観光客が訪れ、話題のスポットとなっています。



市道沿いに満開の「河津桜」

その他の森林は、市内各所130箇所、計約20haの保安林が市街地に隣接しており、市民の憩いの場となるとともに自然と共生する都市を目指しております。

本市はこのような貴重な森林財産を絶やさぬよう、ボランティアグループの方々と協力しながら環境保全に努めるものです。

（三浦市 経済部農産課）



南西方面から見た「小網代の森」